

◆ 侵攻後のチェコスロヴァキア情勢と事件に対する米国や諸外国の対応を克明に記録

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

米国国立公文書館所蔵資料デジタル・アーカイブ

1968年チェコスロヴァキア危機関係文書

Czechoslovakia Crisis, 1968:

The State Department's Crisis Files

(Source Institution: National Archives (United States) / Content: Approx. 3,000 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※ 正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※ 年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です

1960年代後半のチェコスロヴァキアでは、経済停滞への民衆の不満が嵩じる一方で、社会主義体制の中での自由と多元主義を求める民主化運動が盛り上がりを見せていました。この動きの中で、1968年1月、保守派の共産党第一書記アントニン・ノボトニーに対する批判が高まり、ノボトニーは第一書記を解任されました。改革派のアレクサンデル・ドブチェックが党第一書記に就任すると、検閲は緩和され、政治犯が釈放され、1950年代の公開裁判など政治的タブーだった諸問題に関する議論が容認されるなど、政権は民主化の方向に舵を切り、後に「プラハの春」と呼ばれる民主化運動が全国規模で展開しました。この動きを警戒して見ていたソ連と東欧諸国はワルシャワ条約機構軍をチェコスロヴァキア国境付近に集結させ、軍事演習を行ない、チェコスロヴァキア指導部に圧力を掛けました。チェコスロヴァキア指導部はあくまで共産党が指導する社会主義体制の中での民主化を目指していたものの、民主化運動は指導部の意図を超えて展開する様相すら見せました。そして8月、ワルシャワ条約機構軍はついにチェコスロヴァキアに侵攻、ドブチェックらの改革派はソ連に連行され、民主化運動は武力で弾圧されました。

本データベースは、米国国立公文書館が所蔵する国務省一般記録群 (RG59) の一部をなす国務省長官秘書室 (Office of the Executive Secretariat) の「チェコスロヴァキアの危機ファイル、1968年 (Czechoslovakia Crisis Files, 1968)」という文書群を電子化し提供するものです。ほぼすべての文書がワルシャワ条約機構軍の侵攻後に発せられた文書で、侵攻後のチェコスロヴァキア情勢と事件に対する米国や諸外国の対応を克明に記録します。

※本コレクションはマイクロフィルム版 J Czechoslovakia Crisis, 1968 : The State Department's Crisis Files をデジタル化したものです

- ◆ IPアドレス接続設定・同時アクセス無制限
- ◆ ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整等のビューワ機能
- ◆ 印刷・PDFダウンロード可能
- ◆ メール送信、書誌自動生成、ブックマーク機能
- ◆ Google/Microsoft アカウントとのログイン



第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 極東書店

FAR EASTERN BOOKSELLERS

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
 〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
 075(353)2093 FAX (353)2096
 092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

